

## 「エシカル・ベネローブ」オープン2カ月！ 世界のどこかで、きっと笑顔が増えています

テレビ塔1階にフェアトレード&エシカル・ファッションのお店「エシカル・ベネローブ」をオープンして2カ月。国際協力・社会貢献に関心の高い若者たち、新聞に掲載された記事を読んでお越しくださった年配のお客さまなど、幅広い世代が集まります。皆さんの途上国を思う優しさに、輝く未来を感じます。

「アフリカや途上国からのフェアトレードなのに、民族調じゃないのね」と驚かれる方も、意外な商品との出会いにワクワクとお買い物を楽しんで行かれます。中にはフェアトレードとは知らずにデザインにひかれて商品を購入される方もいます。スタッフが商品の背景を説明すると、お客さまは「好きな洋服や小物を自分のために買うことで、困っている人の役に立って、世界のどこかに笑顔が増えるなんて!」と、さら

に笑顔に。販売する私たちも、とても温かい気持ちになります。

多くの方がフェアトレード商品と出合えるよう、モダンでスタイリッシュなデザインの商品構成にしています。私たち販売側は、途上国や弱者の暮らしを支援するため、商品を継続して売る責任があります。そのためにはお客さまが欲しいと思える品ぞろえで満足してもらうことが大切。だからこそ、デザインと質にこだわってセレクトします。

一般に、フェアトレードは途上国の素材を使って、途上国への仕事を創出しますが、エシカルは必ずしも途上国とは限りません。例えば、あるエシカル・ブランドは、フランスの小さな村で自生する松の繊維を素材にお洋服を作ります。栽培・加工・縫製を村で行います。ほどよ

く松を使うことで松林を永遠に絶やさず、森林保護育成となっています。CO2の削減、生産者の保護、自然環境にも配慮したお洋服は、良質で伸縮性・消臭効果があつて滑らかなシルクのような肌触り。自然染料での発色は、安全だけでなく美しく豊かな色合いです。

エシカル・ファッションのデザイナーたちは言います。「私たちはエシカル・デザイナーではなく、ファッション・デザイナーなの。素材が安心・安全で地



5月の、世界フェアトレード・デーで、中区栄で行った原田さとみプロデュースの「フェアトレード&エシカル・ファッションショー」。仏デザイナーによる松の繊維やオーガニック・コットンによるエシカルなお洋服で華やかな演出

球に負担をかけないことや、生産過程で搾取や児童労働がなくエシカルであることは、人として当然のことだから。エシカル・ファッションには、フェアトレードのようなマークや認証機関がありません。誰でも身近なところから始められるのがエシカル。助け合い、分かり合い、信じ合い、感じ合う…。優しく思いやりあふれる地球の未来への合言葉ですね。

さて来月は、さらに「国内フェアトレード」にお話を広げましょう。

プロフィール……………  
はらださとみ  
(タレント・エシカルコーディネーター)

エシカル・ファッションの普及活動を中心に、フェアトレードタウン推進に取り組み。フェアトレード&エシカル商品の輸入販売「エシカル・ベネローブ」代表。国際協力機構「ICA」中部なごや地球ひろばオフィシャル・サポーター。親子向けの絵本読み聞かせの会「ループ」主宰など幅広く活動中！  
<http://satomiharada.com>

